

## (8) 財団法人 鳥取県臓器バンク経営状況報告書

### 一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県臓器バンク
- 2 目 的 臓器移植の普及を図るため、県内において臓器移植に係る啓発及び助成等を行い、もって県民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的とする。
- 3 組織変更認可年月日 平成11年3月25日  
(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成6年3月23日)
- 4 組織変更登記年月日 平成11年4月1日  
(財団法人鳥取県腎バンク設立登記年月日 平成6年4月1日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 88,630,579円  
鳥取県出えん金 52,640,000円  
市町村出えん金 24,000,000円  
民間出えん金 11,990,579円
- 6 役 員 理 事 17人 監 事 2人  
理事長 岡本公男(社団法人鳥取県医師会会長)  
副理事長 井藤久雄(国立大学法人鳥取大学医学部長)  
常務理事 田中謙(鳥取県福祉保健部長)  
理 事 林伸伍(社団法人鳥取県歯科医師会会長)  
〃 小林健治(社団法人鳥取県薬剤師会会長)  
〃 高橋千寛(米子医療センター泌尿器科医長)  
〃 根本良介(鳥取県立中央病院副院長)  
〃 竹内功(鳥取県市長会会長)  
〃 坂本昭文(鳥取県町村会会長)  
〃 稲垣滋(鳥取県銀行協会会長)  
〃 水根富士雄(鳥取県商工会連合会専務理事)  
〃 有田勝徳(鳥取県中小企業団体中央会専務理事)  
〃 横山巖(ライオンズクラブ336-B地区7区代表)

理事 中岡明久（山陰労災病院腎代謝内科部長）

” 荒田久男（鳥取県腎友会副会長）

” 渡邊淳子（博愛病院院長）

” 塩澤洋子（社団法人鳥取県看護協会会長）

監事 藤本英興（鳥取信用金庫理事長）

” 馬壁聰之介（鳥取県公社・事業団等監事室監事）

7 職員 3人

8 事務所 鳥取市東町一丁目220番地

## 二 平成17年度事業実施状況

### 1 臓器移植の普及啓発、臓器提供意思表示カードの配布

- (1) 街頭キャンペーンや各種団体が開催するイベントへの参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行った。
- (2) 医療機関との連携強化のため、「臓器移植実務者会議」を2回開催し、新聞・テレビを通じて広報を行った。
- (3) 臓器移植推進月間（10月）の開催広告を朝日新聞に掲載した。また、推進月間の間、JR駅（鳥取、倉吉、米子、鳥取大学駅前）にPR広告・ポスターを設置した。
- (4) 9月より日ノ丸バスの車体外側にPR広告を掲載している。
- (5) 県政ラジオ放送（FM山陰）で、臓器移植についての内容が取り上げられ、その支援を行った。「臓器移植について知ろう」
- (6) 県と協力して臓器提供意思表示カードを配布することにより、臓器移植医療への理解促進を図った。また意思表示カードの周知・所持状況についてアンケート調査を実施した。
- (7) 年々増加する人工透析患者数を把握するため、人工透析施設の協力を得て人工透析の現況に関する調査を行った。
- (8) インターネットのホームページを更新し、より多くの方へ鳥取県の臓器移植医療の現状や臓器提供意思表示カードについて紹介した。

### 2 鳥取県腎友会への助成

- (1) 人工透析患者とその家族で組織している鳥取県腎友会の学習会（年2回）に対して助成した。

### 3 臓器移植コーディネーターの活動

- (1) 日常業務
  - ・ 県内臓器提供施設の医療従事者に対し臓器移植に関する普及啓発活動を行い、臓器提供協力の拡充に努めるとともに、定期的に巡回し更に理解と協力を得ることに努めた。
  - ・ 臓器移植希望者に対し、相談対応を行った。（2件）
  - ・ 病院、各種団体等での講演を行うことにより、臓器移植医療への理解、協力を求めた。
- (2) 臓器提供発生業務
  - ・ 県内でのドナー情報なし。
  - ・ 他県の腎臓、眼球提供の事例見学を行った。（県外2件）
- (3) その他
  - ・ 臓器バンクの活動を報告したバンクだよりを、理事会での決算承認後作成し、賛助会員等に配布した。







### 三 平成18年度事業計画

#### 1 臓器移植の普及のための啓発

- (1) 臓器移植推進街頭キャンペーンの開催、県・市町村及びライオンズクラブ等が開催するイベントや講演会等への参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行う。
- (2) 臓器提供意思表示カードや啓発パンフレットを県・市町村などの行政機関、医療機関、学校及び公民館等に配布する。
- (3) テレビ・新聞・県市町村広報・インターネット・ケーブルテレビ等の媒体を活用して広報を行う。
- (4) 移植コーディネーターによる県内各医療機関の院内研修での講演や定期的な巡回により、臓器提供に対する理解及び協力を得る。また、資料を作成・配布し、各医療機関へ情報提供する。
- (5) 教育現場への普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、「臓器移植出前講座」を実施することにより若年世代又は教職員等の臓器移植に関する正しい理解を深める。
- (6) 移植医療に携わる実務者による意見交換や、知識の共有を図るための会議を開催する。

#### 2 臓器移植に係る助成

- (1) 鳥取県腎友会の学習会経費に対して助成する。
- (2) 臓器提供が行われた時には、臓器提供者の遺族に対し香典を贈る。

#### 3 社団法人日本臓器移植ネットワークが行う臓器提供のあっせんに対する協力

臓器移植コーディネーターは、社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携しながら、死体の臓器提供のあっせんに対して以下のような活動をする。

- (1) 臓器移植希望者に対し、登録申請のための支援を行う。
- (2) 西日本支部及び主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の脳死判定及び臓器提供に関する意思を確認するとともに、その家族に対して臓器提供についての説明を行う。
- (3) 組織適合性検査のため、臓器提供候補者の血液の確保とともにHLA検査センターへの血液搬送又はその手配を行う。





| 科 目               | 予算額    | 前年度予算額  | 増 減     | 備 考 |
|-------------------|--------|---------|---------|-----|
|                   | 千円     | 千円      | 千円      |     |
| I 事業費             | 2,844  | 3,970   | △ 1,126 |     |
| 1 普及啓発費           | 1,281  | 2,455   | △ 1,174 |     |
| 2 臓器移植助成費         | 20     | 20      | 0       |     |
| 3 コーディネーター活動費     | 1,543  | 1,495   | 48      |     |
| II 管理費            | 7,364  | 7,644   | △ 280   |     |
| 1 会議費             | 85     | 85      | 0       |     |
| 2 事務局費            | 7,279  | 7,559   | △ 280   |     |
| (1) 職員給与費         | 6,066  | 6,370   | △ 304   |     |
| (2) その他事務局費       | 1,213  | 1,189   | 24      |     |
| III 予備費           | 30     | 1,305   | △ 1,275 |     |
| 1 予備費             | 30     | 1,305   | △ 1,275 |     |
| 支                 |        |         |         |     |
| 出                 |        |         |         |     |
| 当期支出合計(C)         | 10,238 | 12,919  | △ 2,681 |     |
| 当期収支差額(A) - (C)   | △ 1    | △ 2,205 | 2,204   |     |
| 次期繰越収支差額(B) - (C) | 0      | 0       | 0       |     |